



高い国民健康保険料の引き下げを

保険料の値上げ、保険証の取り上げ・差し押さえが強まる国保の「都道府県化」は撤回を

2018年4月から、国民健康保険が、「都道府県化」で運営されようとしています。9月定例会議で提案された関連する条例にふしきみちよ県議は県民の立場で、反対討論をおこないました。

安倍政権のすすめる「医療保険改悪法」のもとで、国民健康保険の「都道府県化」は、権限をすべて都道府県に集中して、強権的に医療費給付費の削減を推進ところにねらいがあります。これまで市町がおこなってきた独自の一般会計からの繰入が「解消」されれば、国保料（税）がさらに引き上がる。市町は県に100%の納付金を迫られ、保険証の取り上げや差し押さえなど滞納制裁がいつそう強化されるおそれがあります。滞納世帯は滋賀県でも24000世帯をこえ、「都道府県化」で矛盾はいつそう拡大されます。そもそも現在の国保がかかえる問題は、加入者に占める低所得層が年を追うごとに増え、支払い能力をはるかに超える「高すぎる保険料」にあります。国庫負担を半分に減らしてきたことが根本の原因です。国庫負担を増やして払える保険料にすべきであり、ふしき県議は、安倍政権の「医療保険改悪法」「国保の都道府県化」の中止・撤回を強く求めました。

県民の願い届けて!! 日本共産党は請願の紹介議員になり、採択を求めました 各県議の請願に対する態度(大津市選挙区)

○ 賛成 × 反対

	節木三千代 (共産)	佐野高典 (自民)	佐藤健司 (自民)	目片信悟 (自民)	山本進一 (自民)	成田政隆 (チームしが)	柴田智恵美 (チームしが)	粉川清美 (公明)	中村才次郎 (公明)	結果
※ 1	○	×	×	×	×	○	○	×	×	不採択
※ 2	○	×	×	×	×	○	○	×	×	不採択
※ 3	○	×	×	×	×	○	退席	×	×	不採択

※ 1 TPP協定を国会で批准しないことを求めることについて

※ 2 国が地方自治を尊重し、沖縄県と真摯に基地問題についての協議を継続するよう求める意見書の提出を求めることについて

※ 3 「老朽原発」高浜原発1.2号機、および美浜原発3号機の再稼働を認めないよう求めることについて

「改憲推進」の意見書、自民・公明など強行可決!!

10月13日、「国における憲法改正議論の推進を求める意見書」を自民、公明両党等の賛成多数で可決しました。安倍首相が「いかに我が党の案をベースにしながら3分の2を構築していくか・・・」と発言していることに照らし合わせますと、意見書の持つ意味は憲法9条の2項の改憲による国防軍の創設や、憲法97条削除による基本的人権の否定につながるものです。日本共産党は「憲法9条のもとで平和な日本、基本的人権に基づく豊かな生活こそ県民多数の願いで、右翼団体の意向に沿う意見書を数の力で採択することは、県民・有権者への裏切り行為だ」と指摘し、反対しました。

「地方議員だけ年金改善」の意見書に反対 「低い年金」こそが問題 !!

9月県議会に提案された「地方議員の年金制度の加入を求める意見書」(要約)は、地方議員が被用者年金制度に加入して基礎年金に上乗せの報酬比例部分のある年金制度とするなど、法整備を求めるものです。

日本共産党は「地方議員だけが、低い基礎年金を理由に公費をいれて年金の給付の上乗せをすることに県民の理解は得られない」と指摘し、反対しましたが、多数で可決しました。

そもそも今の国民年金が、満額おさめても月65000円という低さこそ問題で、最低保障年金を導入し、低額年金問題の根本的解決にこそ、力を尽くすべきです。

「老朽原発」美浜3号機動かすな!!

10月5日、原子力規制委員会は、運転開始から11月で40年となる老朽原発・関西電力美浜3号機について、新規制基準に適合していると決定しました。

美浜原発で福島第1原発と同規模の事故が起きたら生態系に重大な影響が及ぼします。県の影響予測では、ピワマスなど国が定めた食品基準の1.65倍の放射性セシウムが体内に蓄積し、基準値を下回るには5年程度かかると予測しています。絶対に再稼働すべきではありません。(ふしき)



キンカン行動に参加

みちよの
かけ歩き(記)

生活相談会をおこないます。

日時：11月7・21日(月)午後3~5時
場所：ふしきみちよ事務所

2016年10月18日 発行：ふしきみちよ事務所
大津市末広町4の4 Tel・Fax 077-523-0334
メール mfushiki@beach.ocn.ne.jp ふしきみちよ公式ホームページ <http://fusiki.huu.cc/>

ふしき みちよ

検索